

# BLM（過激黒人人権運動）の活動家が米議会暴動の扇動で逮捕

ジョン・サリバン：米議会破壊の教唆がビデオで判明、FBI に逮捕される

Jay Greenberg, @NeonNettle

January 15, 2021



Black Lived Matter の活動家 John Sullivan が、米議会ビル暴動を扇動したとして告発された

有名な BLM の活動家が FBI に逮捕され、1月6日の米議会ビルの激しい暴動を指導したとして告発されたと、米司法省は通告した。

ジョン・サリバンは、ユタ州を本拠とする BLM オーガナイザーで、アメリカの極左反乱グループの創設者だったが、連邦調査官たちが、彼が議会ビルの中において、抗議者たちに、暴力と建物の破壊を教唆しているビデオを撮ったあと、逮捕告発された。

サリバンは現在、彼が5人の人々を殺した暴力事件を、扇動する役割をしたとして、刑事訴訟を受けている者だ、と司法省は言った。

NeonNettle が前に報告したことだが、サリバンはすでに、この事件の展開中に、それを社会メディアにアップロードしたあと、この暴動の中心に置かれていた。

この活動家は、自分はこの暴力を「記録する」ために、そこにいただけだと言ったが、彼が現場にいるビデオが現れると、彼は、元空軍兵士の Ashli Babbitt が射殺されたとき、その近くに立っていたと認めた。

彼が FBI に見せたビデオフィルムでは、サリバンは、抗議者たちを嚇けていると考えられる、と連邦刑事訴状は言っている。



サリバンは、暴動のときに、議事堂警察官が、元空軍兵士アシュリ・バビットを致命的に射撃した瞬間の、クロースアップ・ビデオをツイートした

サリバンはこのビデオを、Jayden X という偽名で、彼のユーチューブやツイッター・アカウントに投稿したと、Fox News は言っている。

彼は木曜日、FBI によって逮捕されたあと、ワシントンの連邦裁判所に告発された。

彼は、連邦保安官の求めによって、故郷のユタ州の Tooele County に拘留されている。

FBI 特別係官 Matthew Foulger の署名した、宣誓供述書によれば、この建物の中で、彼は暴徒たちに対して、「我々はこの s…を焼かねばならない」そして「これは我々の家の m…だ」と言ったという。

彼は、市民的秩序破壊、不法な建物への乱入、および不法侵入または反秩序行為の、連邦罪を負わされている。

サリバンはまた、FBI のファウルガーに、自分は暴動の間、キャピトルの中において、防弾チョッキを着て壊れた窓を通り抜けた、と話したと言われる。

抗議者たちが、キャピトルの玄関近くの壁をよじ登ったとき、彼はビデオの中で「お前たちはf…な野蛮人だ、さあ行こう！」と叫んだと言われる。

(この後、彼の汚い、取り仕切る言葉が、十数行引用されているが、省略・・・)

調査官たちは、このビデオの詳細なところを利用して、サリバンの言っているキャピトルの場所を確認したという。

サリバンが先週木曜日、Fox News に語ったところによると、彼が包囲されたキャピトルに入ったのは、何が起きているのかを正確に「記録」して、アンティファの連中が、この暴動で主役を演じたという「間違った話の流布」を防止するためだったという。

彼は、この暴力左翼グループ Antifa、すなわち Anti-fascists との関係を、最近のインタビューでは否定しているが、彼のグループ「反乱 USA」は、「こいつらファシストを DC から蹴り出せ」という水曜日のイベントの宣伝をしている。

そして、サリバンがそこにいた時、トランプ支持グループのラリーは、ナショナル・モールにいて、キャピトルの暴動はまだ見ていなかった。



ジョン・サリバンが、抗議者たちに対し、暴力を用いて資産を破壊せよと言っているのが聞こえる

2020年のある8月の、Black Lives Matter のワシントン DC 抗議集会で、サリバンは、怒った暴徒に対して演説し、近くのホワイトハウスを指しながら、猛然と乱暴な言葉をぶつけている場面が、フィルムに撮られている。

「我々は…この s… t 建物を焼き滅ぼすのだ」と、サリバンは群衆を挑発しながら叫んだ。

「我々は、トランプを、あそこのあのオフィスから引きずり出すのだ」と彼は言い、「我々は次の選挙まで待つつもりはない」と警告した。

すごい言葉を使った彼のビデオを、ここで見るができる。

1月6日のトランプ・ラリーの後で、暴徒のデモたちはキャピトルを破壊し、議場のオフィスを掻き回し、上院のフロアを滅茶苦茶にし、2大政党の両方のメンバーから、非難の合唱を引き出した。

この破壊は、選挙結果を確実なものにしようとする議会の合同セッションを、ひどく妨害した。

議会は、その後、夕方に再開され、そのプロセスを終えてしまった。

木曜日現在、まだ拘束されていたサリバンに、コメントを求めたが聞けなかった。

### 【Greatchain 訳注】

今、我々の生きている、まさにこの世界で、SOTN の言う通り、「**真に畏怖すべき (awesome) ことが起こりつつある**」。こんなことは、おそらく世界の歴史上、起ったことがなかった。ここに我々は、何ものか、我々を超えたものの働きを感じずる。

一方において、ドナルド・トランプという大統領が、**たった一人で**（そう解釈して誇張ではない）世界の巨悪と戦おうとしている。彼を支える者は8千万人の投票者だけではない。事情を知っている世界の無数の人々が、彼に惹かれ感動し、彼と一体となって戦おうとしている。生きる責任というものを自覚しつつある。

他方において不思議にも、それと反対に、何かに怯え、彼をどこまでも悪者にしなければならぬ人々がいる。ここに引用されている、逮捕された扇動家テロリスト、ジョン・サリバンと、ナンシー・ペロシを比較してみればよい。彼らは、ほとんど同じことを言っているではないか？ あるいは、ごく一部を除いて、我々の新聞やテレビを見るがよい。彼らは明らかに、トランプ大統領に対する憎しみを誘導している。これは、あまりにも大きな犯罪である。ジャーナリストが、すべてを知りながら卑劣にも、現実の真逆を報道し、そのように**民衆を教育する**ことが、どれほどの罪悪であるかを考えてみるがよい。

彼らは、トランプとトランプ支持者は、ジョン・サリバンと同じ、テロリストであるかのように、事実を曲げて報道している。これはひどい。ここに至って我々は、自衛しなければならぬことがわかってくる。自分で考えなければ、生きていけないことがわかってくる。ひょっとしたら、すべてが、これを教えるためだったのか？ SOTN 言うように、「そのように起こらなければならなかった」のか？ このあまりにも際立った善悪の対立は、ただ事ではない。我々はそこから、何かを学ぶように導かれているのではなからうか？